

「国立女性教育会館研究ジャーナル」 第13号投稿論文募集要項

1 趣 旨

独立行政法人国立女性教育会館では、会館の調査研究の充実を図るとともに、わが国における女性教育の進展に寄与するために、会館の調査研究の成果およびジェンダーの視点に立った生涯学習に関わる国際的、学際的研究ならびに男女共同参画に関する実践的研究を掲載する「国立女性教育会館研究ジャーナル」の投稿論文を募集する。

2 募集する論文

平成21年3月発行予定の第13号に掲載する。

・掲載論文「論文」「実践事例研究」「研究ノート」

| 種 類 | 内 容 |
|------------------------|---|
| 論 文 実践事例研究 研究ノート | オリジナルな研究成果をまとめたもの 実践的な事例の分析 研究の中間報告、覚書および新しい研究方法についての報告 |

・執筆要項、投稿規定は次頁からを参照する。

3 テーマ

テーマは自由とする。

4 応募資格

国内外の研究者、行政関係者、実践者等

5 締切

原稿締切 平成20年7月31日(木) 必着

6 掲載論文の決定

査読の対象とする論文は、研究ジャーナル委員会が決定し、研究ジャーナル委員、研究ジャーナル協力委員により投稿論文の査読を行う。なお、必要に応じて各分野の専門家に査読を依頼することがある。研究ジャーナル委員会は、査読結果にもとづき掲載論文を決定する。

7 提出先および連絡先

独立行政法人国立女性教育会館 研究国際室 研究ジャーナル担当

(羽田野、町田、河野)

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6711 FAX 0493-62-9034

ホームページ URL <http://www.nwec.jp/>

「国立女性教育会館研究ジャーナル」 投稿規定

1. 「国立女性教育会館研究ジャーナル」の内容は、ジェンダーの視点に立った生涯学習に関わる国際的、学際的研究ならびに男女共同参画に関する実践的研究に寄与するものとする。
2. 投稿原稿は、上記1の趣旨にのっとった自由論題のものとし、「論文」「実践事例研究」「研究ノート」とする。
3. 投稿原稿は、日本語または英語で書かれた未発表の完成原稿とする。投稿原稿と目的・方法・知見等の面で重複している論文あるいは調査報告をすでに発表（予定を含む）している場合は、このコピーを1部添付した上で投稿すること。ただし、口頭発表およびその配布資料は、この限りではない。
4. 原稿の採否は、複数のレフェリーによる査読のうえ、国立女性教育会館研究ジャーナル委員会において決定する。なお、原稿は採否にかかわらず原則として返却しない。
5. 採択した原稿の執筆者には、抜刷り30部を配布する。それ以上の部数については、あらかじめ申し出があれば執筆者の自己負担によって増刷できる。
6. 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
7. 原稿には表紙をつけ、下記のことを明記する。
 - (1) 表題
 - (2) 表題の英訳
 - (3) 著者の所属・専攻分野・氏名、連絡先（住所・電話番号・E-メールアドレス等）
 - (4) 目次
 - (5) 総字数（図表は、原則として1点を400字に換算する）
なお、表紙の右肩に「論文」「実践事例研究」「研究ノート」いずれへの投稿であるのかの別を明記する。
 - (6) 原稿には、別に800字以内の和文要旨および400ワード程度の英文要旨を添付する。
 - (7) 論文の分類、検索の利便のため、5項目から8項目のキーワードをつける。
8. 原稿執筆中における使用言語は、日本語または英語に限る。日本語については当用漢字とし、現代仮名づかいを用いる。なお、引用文等に関して旧漢字、旧仮名づかい等の問題が生ずる場合には、前もって申し出ること。また、図・表・写真及び特殊な文字・記号の使用については研究ジャーナル委員会で検討する。

9.原稿の分量は、以下のとおりを厳守する。規定枚数から大幅にはずれる原稿は、審査対象としない。

(1)日本語原稿

- ①「論文」 20,000字以内(注、引用文献、図・表を含む)
- ②「実践事例研究」20,000字以内(注、引用文献、図・表を含む)
- ③「研究ノート」 12,000字以内(注、引用文献、図・表を含む)

(2)英語原稿 A4用紙

- ①「論文」 10,000ワード以内(注、引用文献、図・表を含む)
- ②「実践事例研究」10,000ワード以内(注、引用文献、図・表を含む)
- ③「研究ノート」 6,000ワード以内(注、引用文献、図・表を含む)

10.パソコン作成原稿の場合の作成要領は、以下の通りとする。原稿を印刷したもの1部を提出する。

書式:(日本語)横書き/A4用紙縦使い/40字×30行

(英語) 横書き/A4用紙使い/1行10～15ワード×28行 ダブルスペース

枚数:(日本語)

- 「論文」17枚以内(注、引用文献、図・表を含む)
 - 「実践事例研究」17枚以内(注、引用文献、図・表を含む)
 - 「研究ノート」10枚以内(注、引用文献、図・表を含む)
- (英語)
- 「論文」24枚以内(注、引用文献、図・表を含む)
 - 「実践事例研究」24枚以内(注、引用文献、図・表を含む)
 - 「研究ノート」15枚以内(注、引用文献、図・表を含む)

表題・氏名を原稿の冒頭に、所属先・肩書を()の内に原稿本文の末尾にそれぞれ入力する。

11.図版・写真などを他の文献から引用、転載する場合は、執筆者自身が事前に著作権者から許可を得、本研究ジャーナル委員会に許可を得たことを示す文章を提出する。

12.採択された原稿は、会館のホームページおよび国立情報学研究所紀要ポータルサイト上で電子化・公開される。

13.投稿に関する連絡先は下記の通りである。

独立行政法人国立女性教育会館 研究国際室 研究ジャーナル担当

(羽田野、町田、河野)

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

TEL 0493-62-6711 FAX 0493-62-9034

ホームページURL <http://www.nwec.jp/>

「国立女性教育会館研究ジャーナル」 執筆要項

1. 書式

- (1) 原稿は、横書き(1頁全角40字×30行相当)とし、A4判の用紙(縦使い)に印字し一部を提出する。
- (2) 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代仮名づかいを用いる。
- (3) 句読点、括弧、各種記号等は、原則として全角1字分の扱いをする。
- (4) 原稿中の年号、月日およびその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。

2. 図版・写真

- (1) 図および表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号(「図1」、「表1」等の要領により記入)、図、表名および説明ならびに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれの挿入箇所を指定するものとする。図表は、原則として一点を400字に換算する。
- (2) 写真は、写りの明瞭なもので、図および表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、挿入箇所を指定するものとする。

3. 注・引用文献

- (1) 注は、本文該当箇所の右肩に通し番号〔1〕,〔2〕,〔3〕のように〕を記し、本文の末尾にまとめて記載する。
 - (2) 本文又は注において文献を引用する場合は、引用箇所に〔著者名「姓のみ」 西暦発行年 コロン「:」 ページ〕を示す。
- 例 [井上 1990:57-60][Heritage 1987:240][Goffman 訳書 1963:150]等
- (3) 引用文献(本文または注で言及した文献)は、すべて原稿の末尾にまとめる。
 - (4) 引用文献は、原則として下記の方法により記入する。

- ・文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
- ・文献の記載は、著者名、西暦発行年、「論文名」、「書名・誌名」、巻・号、ページ、出版社名の順とすること。
- ・欧文の書名、雑誌名にはアンダーラインを引き、原書の場合は著者名をアルファベットで記入すること。
- ・外国語文献で日本語訳が存在する場合は、なるべく()内に翻訳本に関するデータを添える。ただし、主として翻訳本に依拠する場合ないし翻訳本のみを依拠する場合は(原則として原典によるべきであるが)、翻訳本のみを記し、必要に応じて()内に原典を記す。

例:論文の場合

宮本みち子 2006「雇用流動化の下での家族形成」『家族社会学研究』第17巻2号:29-39 日本家族社会学会
Trivers, R.L. 1974 "Parent-offspring Conflict", *American Zoologist*, 14:24-46

例:単行本の場合

斎藤 学 1992『子供の愛し方がわからない親たち』講談社
Stern, D. 1977 *The First Relationship: Infant and Mother*, Harvard University Press, (岡村佳子訳 1979 『母子関係の出発—誕生からの180日』サイエンス社)

- (5) 原稿中の節番号、項目番号等の書き方は、下記の例に従うものとする。

例:1.問題設定

- 1.1. 本論文の目的
- 1.2. 先行研究
2. 研究方法
 - 2.1. 調査の実施について
 - (1) 調査方法
 - (2) 調査対象
 - (i) 10～20歳
 - (ii) 21～30歳